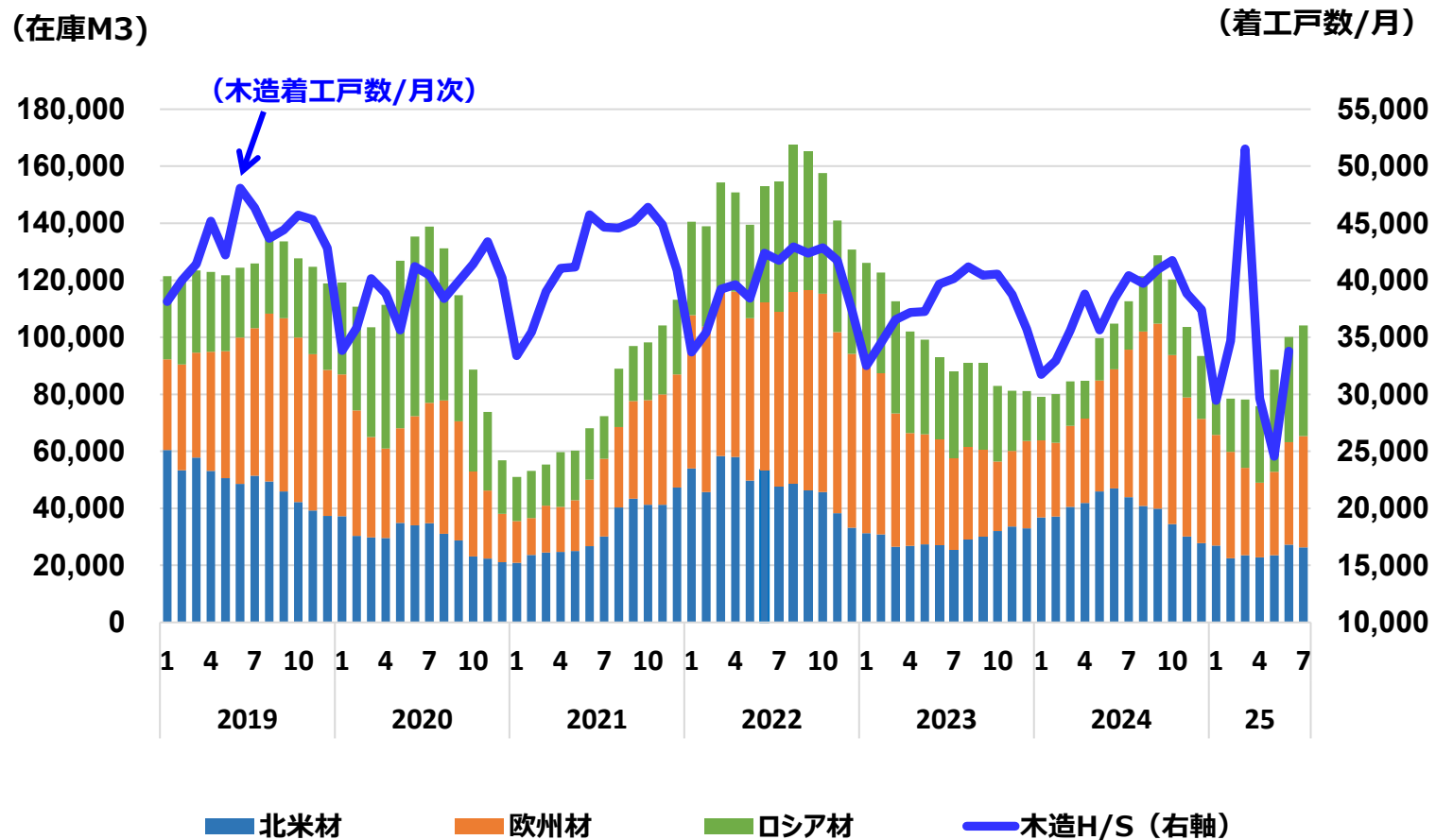


「東京港製材品在庫」と「木造着工数」の推移 2019～25年

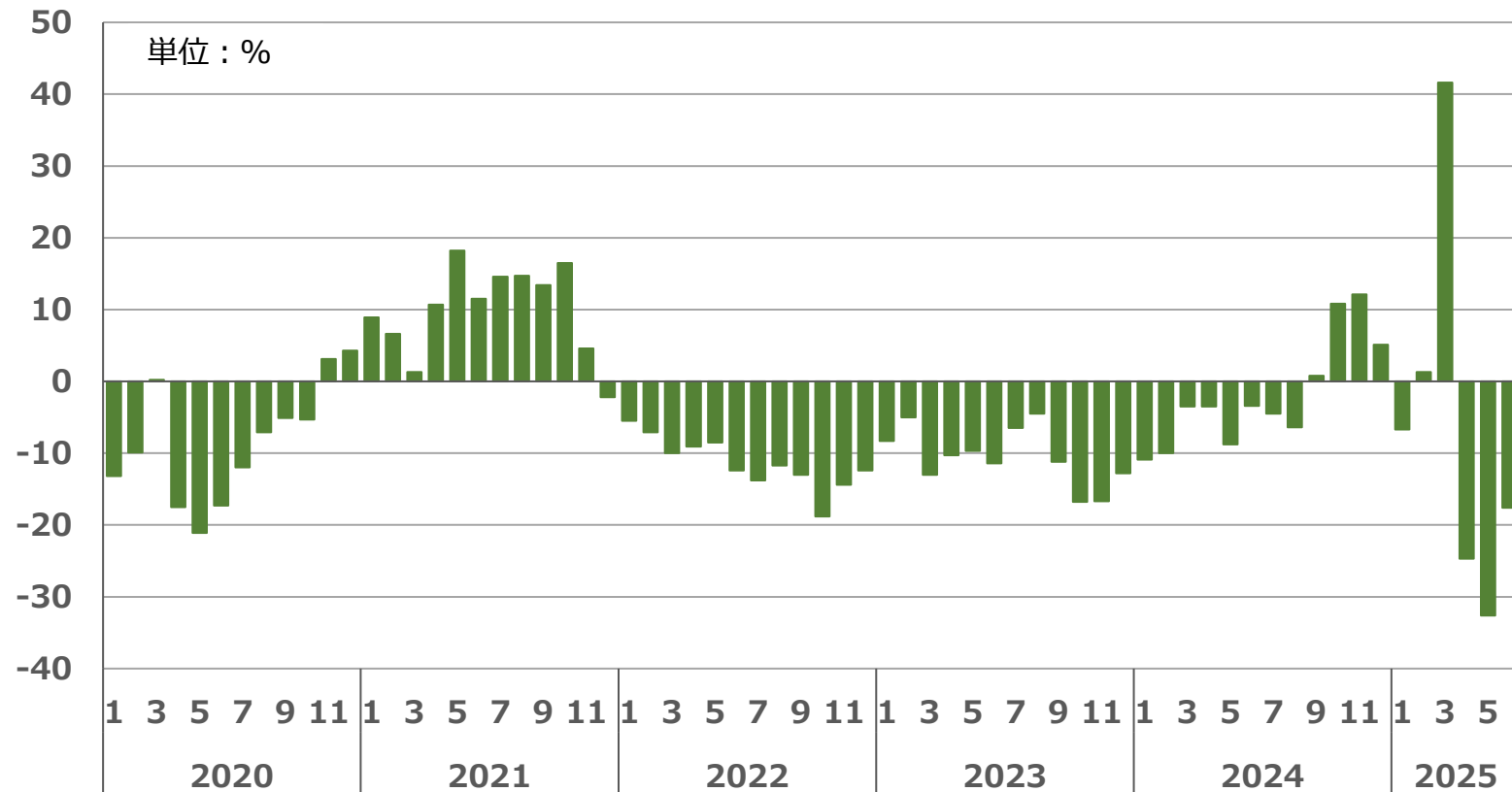
- 2025年7月の東京港製材品在庫量（前年同期比）は、前月から増加したものの、北米材26,285m³（60%）、欧州材39,048m³（75%）は引き続き低位。ロシア材は、コンテナ入荷が引き続き順調で、38,775m³（228%）と増加傾向。
- 2025年6月の木造着工戸数は33,794戸（前年同期比88%）と先月比+38%回復。



木造持家住宅着工戸数の対前年比の推移

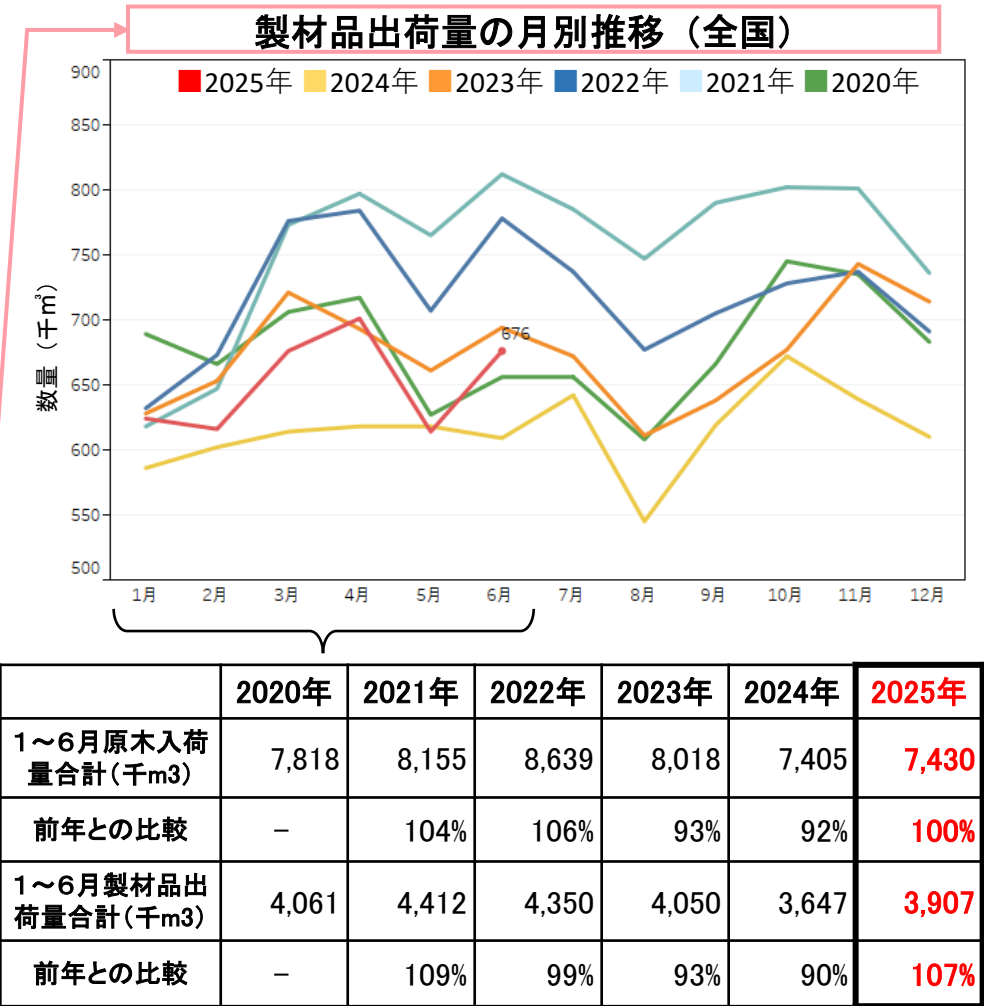
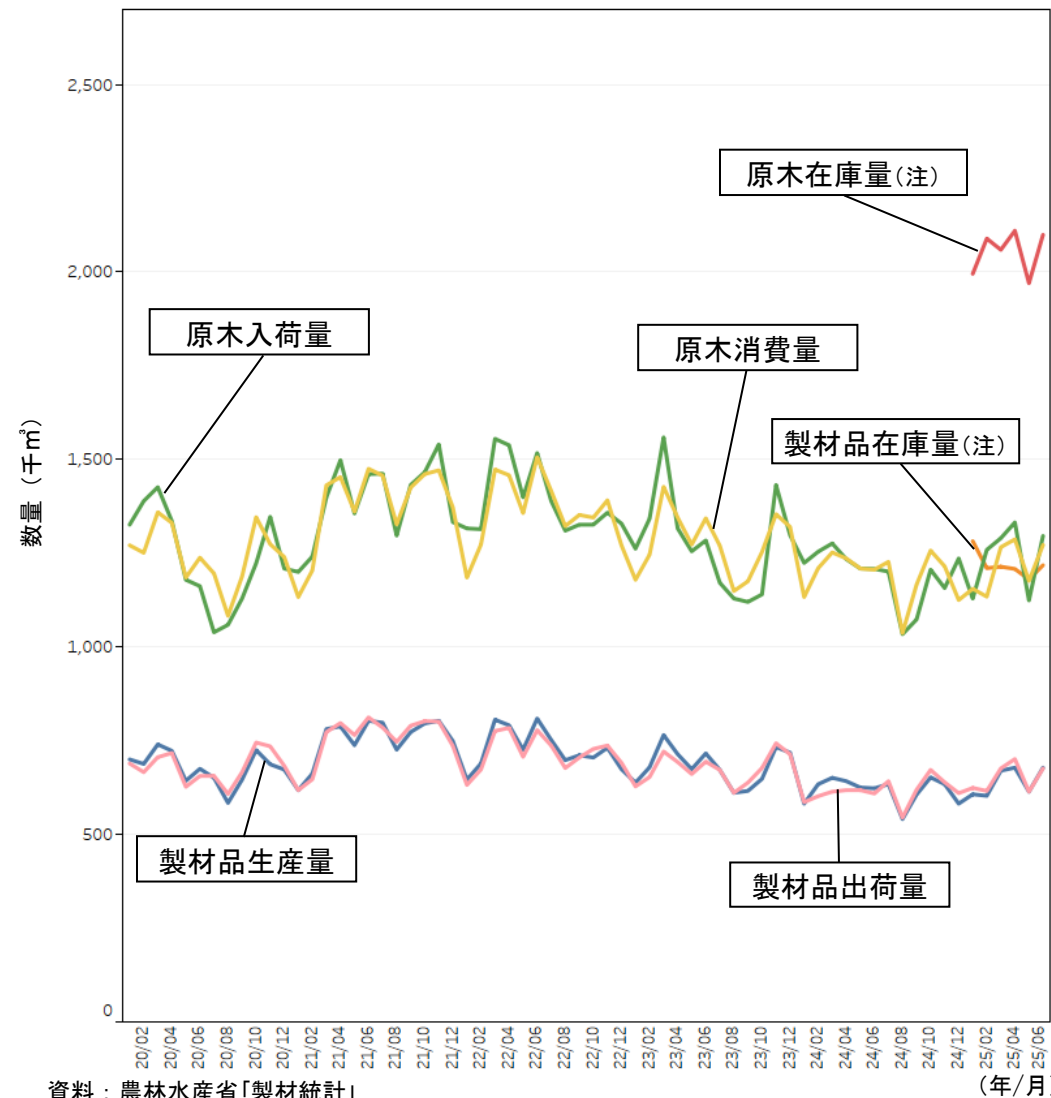
住宅着工戸数のうち、国産材の使用比率が比較的高い「木造持家」着工戸数についての、対前年比率。

○ 2025年6月の木造持家着工戸数は、14,125戸（前年同期比82%）と5月から+37%回復するも、低位で推移。



工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向 製材（全国）

- 2025年 1 ～ 6 月の原木の入荷量は7,430千 m^3 （前年比100%）。
- 同様に製材品の出荷量は3,907千 m^3 （前年比107%）。



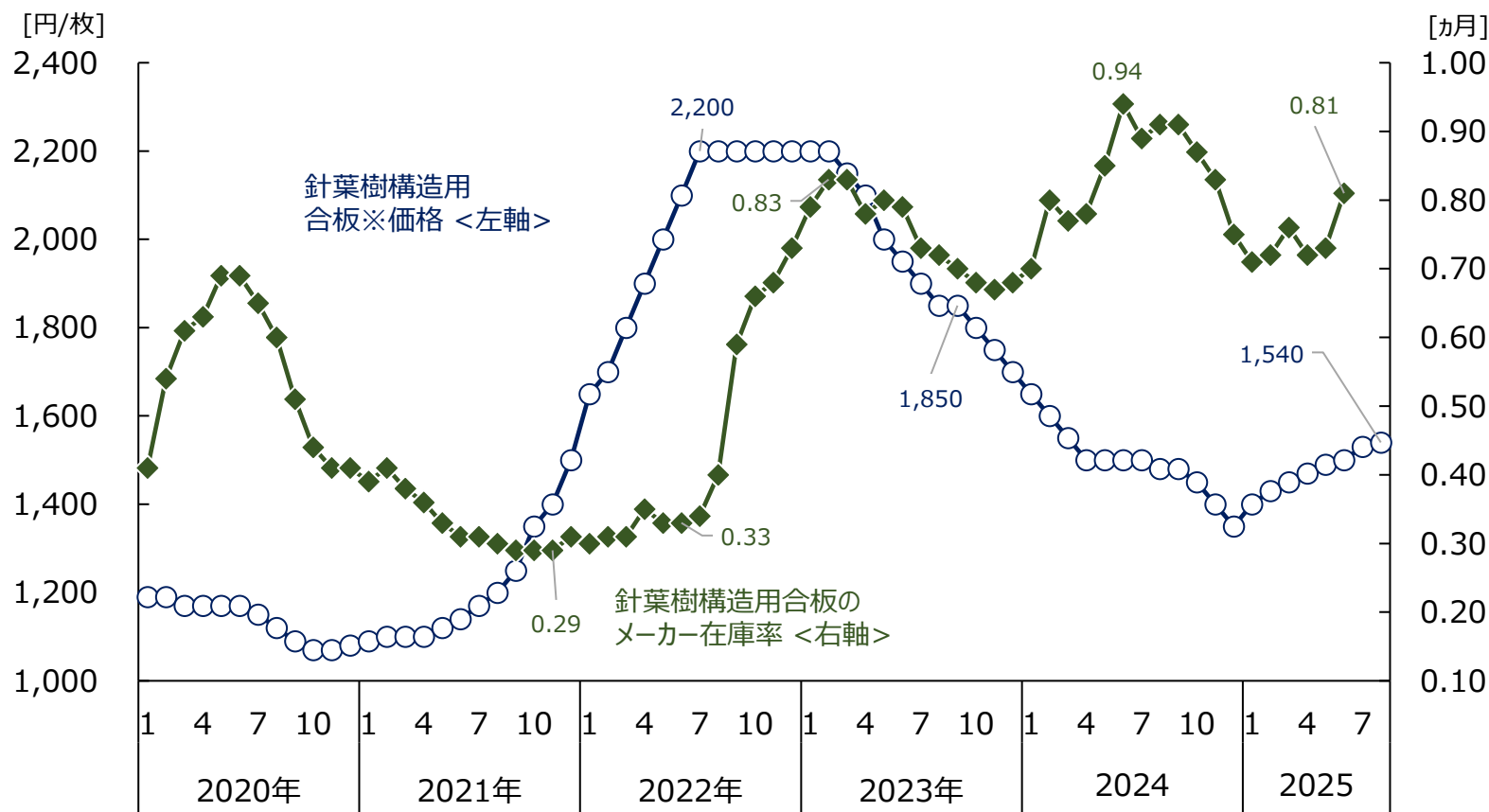
資料：農林水産省「製材統計」
注）原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1 月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

参考図表 4

針葉樹構造用合板価格と合板メーカー在庫率の推移

在庫率＝当月在庫量/当月を含む過去6ヶ月の平均出荷量

- 2025年6月の在庫率は0.81ヵ月分と5月から0.08ポイント上昇。
- 2025年8月の針葉樹合板価格は1,540円と昨年末以降引き続き上昇。



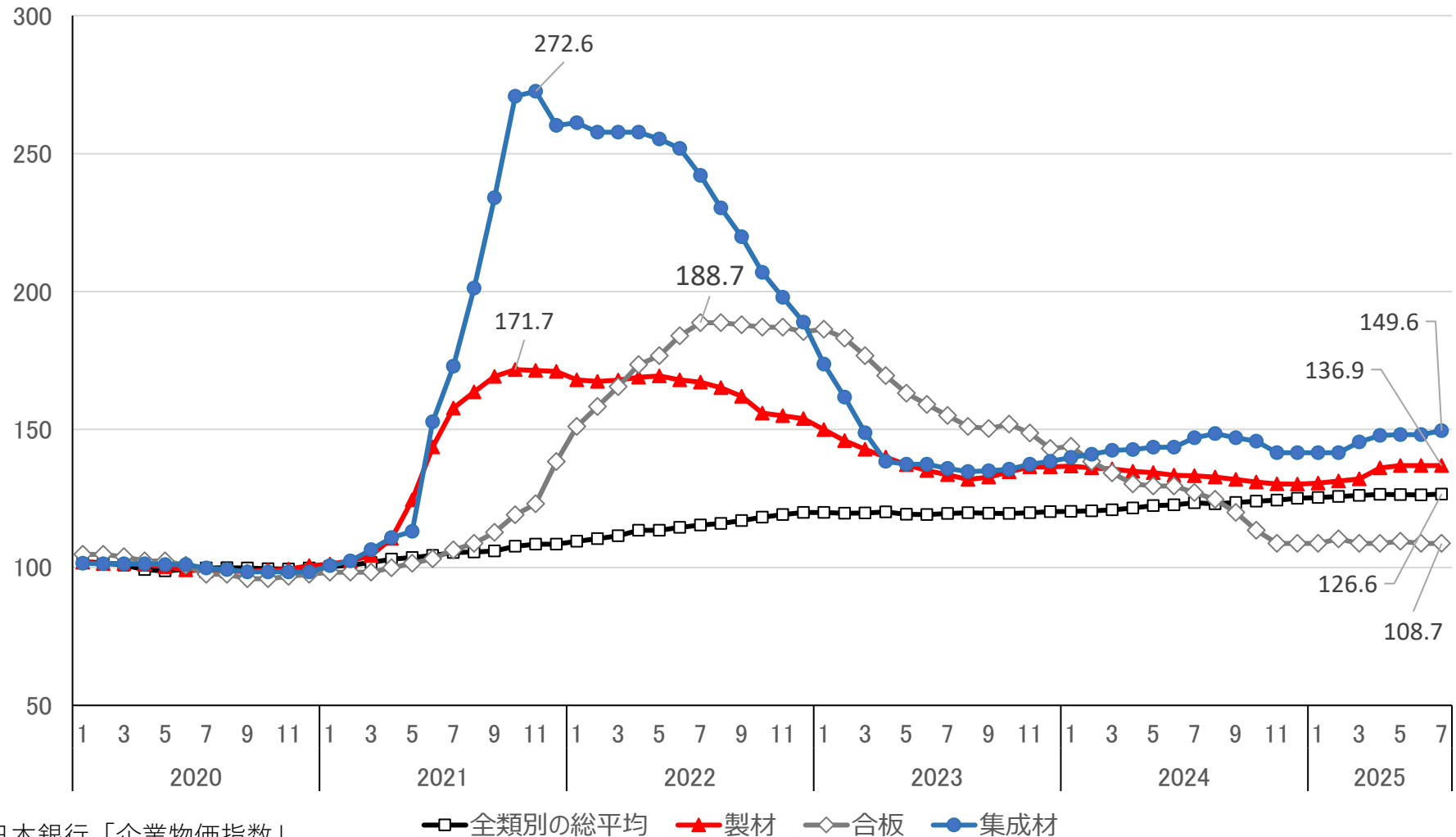
※12.0mm×91cm×182cm、1類

資料：農林水産省「合板統計」、日本木材総合情報センター「市況検討委員会資料」

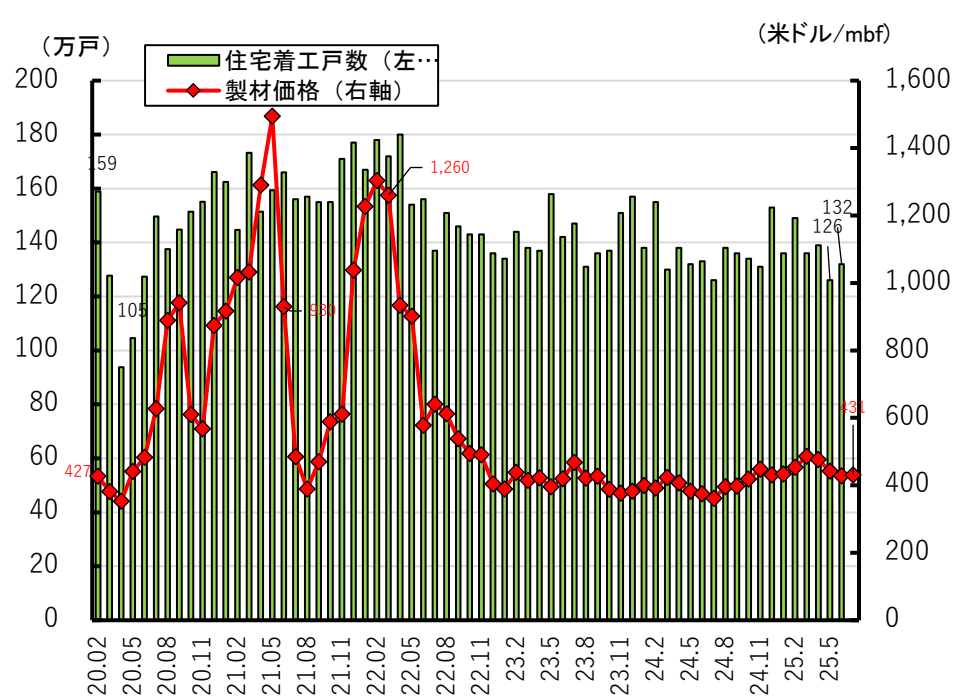
注) 2025年1月から「合板統計」における当月在庫量の算定方法に変更があったため、前月までの在庫率の推移とは接続しない。

国内企業物価指数の推移（2000年平均＝100）

○ 2025年7月の企業物価指数（先月比）は、製材136.9（±0）、集成材149.6（+1.5）、合板108.7（±0）であり、合板は2024年9月以降下げ止まり傾向が見られる。

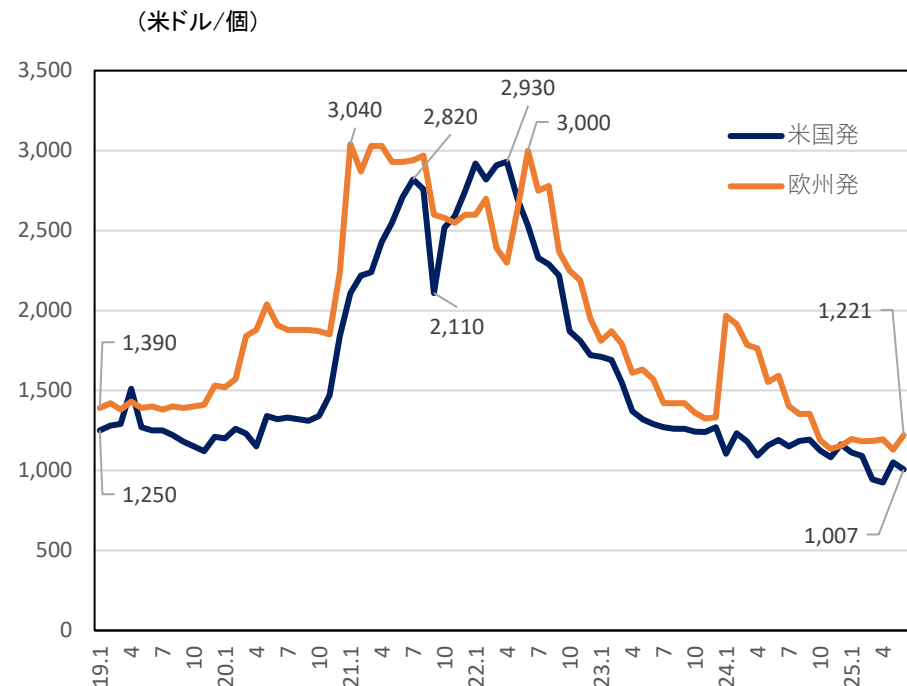


- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、2022年5月からは概ね130～150万台で推移。2025年6月は前月比+5%増の約132万戸。
- 北米の木材価格は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。2025年7月は431ドル/mbf（前月比+1%増）。
- 日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したものの、2023年末時点で概ね元の水準まで下落。2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時高騰。



資料：（住宅着工戸数）米国商務省「住宅着工統計」（季節調整済み、年率換算、戸建て計）
（製材価格）Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」（月末価格、2022年6月以降は月中価格）

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



（注） 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
（出典）Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

日本向けコンテナ運賃の推移